

## 台湾師範大学附属高級中学交流

附中  
来校



SSH台湾附中交流を通して  
3年理科数科 男子  
7月11日にSSH事業の一貫として交流している台湾師範大学附属高級中学の生徒が興讓館に来校しました。その際、打ち解けるためのアイスブレイクとして、協力してegg-dropsテストを行いました。egg-dropsテストとは、理科数の生徒（ハイ）と台湾の生徒が協力して、高いところから落とすも中の卵が割れないような装置を作るといふもので、台湾の生徒とは英語でコミュニケーションを取りながら行いました。僕は英語が得意ではありませんが、今まで学習してきた英語を、図や身振りで補い何とかコミュニケーションを取り話し合いました。話し合いの結果、落下の衝撃を和らげるために円錐型の装置にしようと決まり、様々なアイデアをめぐりました。結果は失敗でした。正直とてくやしかったです。外国の生徒と英語で話し合ったことは、英語力の自信がつけ良い経験でした。

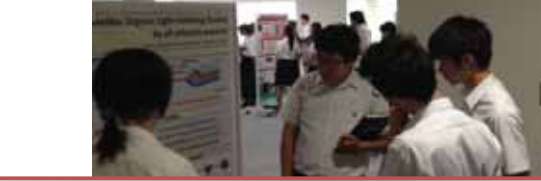
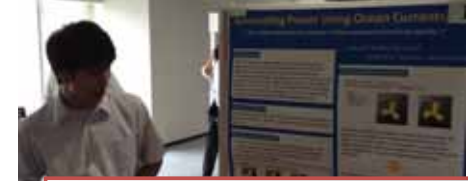


エッグドロップの様子

## 米沢興讓館サイエンスフォーラムin山大



サイエンスフォーラムを通して  
3年理科数科 男子  
サイエンスフォーラムin山大では、台湾の方々、山大の留学生、興讓館理科、SSH部が英語でお互いの研究を発表しました。言語が違う人々に伝えることの難しさを実感しました。日本語ポスターを英語にする際に文法などの注意にも苦戦しましたが、一番大変だったのは発音でした。テストで点が取れること話ができることは全然違いました。普段の勉強で話すことも意識してやっていたと思います。来年この活動を行う生徒には、文法的に正しい英語はもちろんですが、表情やアイコンタクトなどもとても大切なことだということをお話してほしいです。外国人とは大学で交流する機会が多いと思います。高校生のうちから外国人と頻りに会話する機会が多かったのはとても有意義でした。高校で鍛えたコミュニケーション力を大学で発揮したいと思えます。



ポスターセッションの様子

